

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズルームこすもす		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日	～	令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)
			11名
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日	～	令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)
			9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性等に応じた支援	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに合わせ、伝え方や遊びの工夫を行っている。 理学療法士、作業療法士の専門職による支援を定期的に行うことができている。心理相談員、言語聴覚士による評価を希望で受けることができている。 外部講師による食事の評価を受け、摂食機能に合う食事形態、姿勢、介助方法等、一人一人に合う食事支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な情報交換や専門職による職員研修を行っていく。 専門職との情報共有を生かし、保育士等の療育職員ならではの感性を生かした活動やかかわりを行っていく。
2	・子どもの健康や発達状況について共通理解	<ul style="list-style-type: none"> 保護者とは、直接会話をするだけでなく、連絡帳も使用し、保護者は任意で記入し、活用している。 より様々なケースを知るため、職員が小集団の外来療育を兼務している。 感染対策を始め、健康状態を保つための環境設定をしている。 相談支援員や他機関と連携し支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なケースを知り、ケース検討を重ね、よりの確な療育を提供していく。 インクルージョンを意識し、地域のこどもとの交流の機会を設定していく。
3	・保護者への共感的な支援	<ul style="list-style-type: none"> 登園時刻は午前9時50分から午後2時20分だが、家庭の事情や、こどもの生活リズム等の事情を考慮し短時間の利用にも対応している。 親子療育の中で、いろいろな場面でたいへんさや、こどもの変化、成長、感動等、保護者と共感している。 保護者の連絡のしやすい時間帯に考慮し、メール等の使用も含め、より円滑なやりとりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に伝わりやすいよう、ホームページやメール配信等で療育内容をアピールしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・欠席が多い。	・親子通園のため、家族の用事で通園できないことがある。	・家族についても保護者のたいへんさに共感し、支援できることを探る。単独通園している他事業所の様子を共有していく。欠席中にできることを探り、提案または提供していく。
2	・地域のこどもとの交流の機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 近くに公園があり、インクルーシブ遊具で遊ぶ機会があるが、体温調節等の難しさがあるため、天候の良い限られた時期にしか散歩を設定していない。 感染症予防対策のため、隣接の事業所との交流も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 散歩を意識的に多く週案に取り入れる。 感染症の予防をしながら、地域との交流を計画する。
3	・併用している他事業所や保育園等に、当事業所の内容をあまり知られていない。	・ホームページ等での療育のアピール不足。	<ul style="list-style-type: none"> キッズルームひまわりとの一元化の機会に、ホームページを整理する。在籍していない人、情報をもっていない人がいることを意識して作成する。 年1回ではなく、複数回の更新をする。